

生命・医療系コース 千葉市の環境・保健衛生の最前線

平成30年8月17日（金）13:30~16:30 場所：千葉市環境保健研究所

講師：千葉市環境保健研究所職員



所長のお話



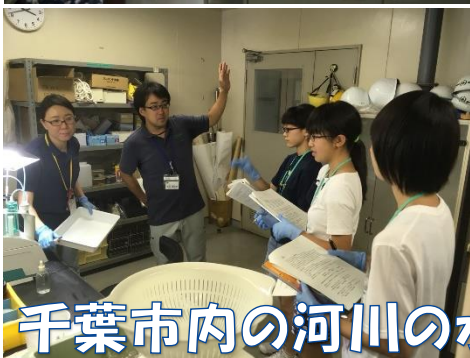
健康科学課のお話



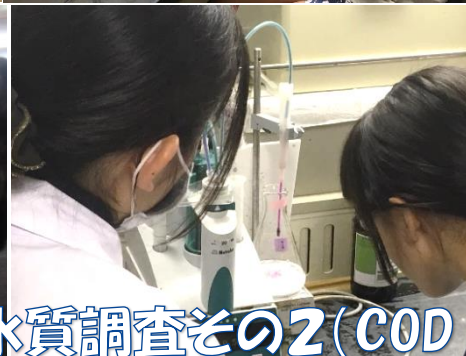
環境科学課のお話



ハウレンソウの残留農薬の測定



千葉市内の河川の水質調査その1(DO測定)



千葉市内の河川の水質調査その2(COD測定)

【受講生の感想】

- ・川の水の状況を有機物の量や酸素の量などといった様々な視点をもって研究していることを知り、すごいなと思った。また、研究をするにあたって国の法律に沿ってやっていることを初めて知り、驚いた。ハウレンソウに農薬がどのくらい含まれているのか求めるのでは沸点や密度の物質ごとの違いを利用して農薬を取り出していたのに、興味が特にわいた。
- ・千葉市の環境について、このように調べたり、研究したりする場所があること自体、初めて知りました。DOやCODを調べるための装置に驚きました。家に帰ったらインターネットでDOやCODの値を探してみたいです。私は源町のすぐ近くに住んでいるので、源町を流れる川のDOが高く、CODが低くて嬉しかったです。
- ・どんどん水質汚染や大気汚染がひどくなっていく中、このような仕事があるのは大切だと思った。実験もとても楽しかった。私たちが生活していく中で欠かせない職だと思った。法律で色々と決まっていることに驚いた。
- ・学校などでは使えないような機械を使用したり、できない実験などたくさんさせていただいたりして、とても楽しかったです。普段、何気なく見ている川がこのようにして研究されていることを知ってとてもびっくりしました。係の人によると、ここ何十年かで川はどんどんきれいになっていると聞いてとてもいいことだと改めて感じることができました。